

組合員さんの

想いにこたえて

みなさんから寄せられた声を商品・運用にいかす取り組みをしています。

ほしや製菓の「デリシャスミント」の案内がずいぶん前にありましたが、この頃は全然ありません。とてもいい味です。ぜひ案内をお願いします。



組合員さん VOICE

実現しました

商品のリクエストをいただきありがとうございます。ご要望いただきました「デリシャスミント 92g(個包装込)」は、10月3回企画で案内することになりました。

原材料に砂糖(グラニュー糖)、水飴、L-メントール(ハッカ脳)を使用し、後味の良さを追求した、清涼感のあるキャンディーです。この機会にぜひご利用をお願いいたします。



今月のお知らせ 8月1回COMET2 表紙で案内した吉野本葛を使用した商品について

8月1回のCOMET2の表紙で、奈良の特産品である吉野本葛を紹介し、吉野本葛を使用した「葛水羊羹」「ぶるるん」「ぶるとろ葛餅」を案内しておりましたが、「吉野本葛」の産地について、ご意見をいただきましたので、お知らせいたします。



「吉野本葛」は吉野葛製造事業協同組合※が地域団体商標登録をしたものであり、奈良県の吉野地方及びその近辺で精製された本葛または葛にのみ「吉野」と冠し、「吉野本葛」もしくは「吉野葛」と表示することができるとされています。

そのため、この基準を満たすものであれば、原料である葛の根の産地が、国産、外国産を問わず、「吉野本葛」として販売されています。8月1回のCOMET2で案内しておりました商品については、原料となる葛の根は国産に加え、外国産(中国、韓国)も使用されています。

また、「本葛」と「葛」の違いについてですが、「本葛」は葛の根から取り出したでん粉(葛でん粉)だけを原材料とし、寒水に晒して精製したものをいいます。そのため、商品の一括表示に書かれている原材料名は「葛でん粉」もしくは「くず粉」となります。「葛」とは、葛でん粉を主原材料に用い、従原材料としてさつま芋から自然工法により採取したでん粉(甘しょでん粉)を混合したものをいいます。そのため、商品の一括表示に書かれている原材料名は「葛でん粉・甘しょでん粉」となります。

※吉野葛製造事業協同組合：(株)森野吉野本葛本舗、(株)黒川本家、灘商事(株)、(株)井上天極堂の4社で構成されています。



商品検査レポート 8月に実施した商品検査の結果をご案内します。

毎月の検査結果はHPにも記載しています。▶<http://www.naracoop.or.jp/goods/letter/kensadayori.html>

微生物検査	検査数 1,009	店舗新規商品検査において「水産1商品」が一般生菌数にて不適合となり、取扱いをしないこととしました。								
理化学検査	検査数 399	主な検査項目	食品添加物 86	簡易農薬 51	畜種判定 7	残留農薬 (外部検査機関へ依頼) 5	ヒスタミン 40	カビ毒 6	検査の結果、いずれも問題ありませんでした。	
放射性物質検査 (NaIシンチレーション スペクトロメータ※①)	検査数 75	米	野菜	果物	牛乳	鶏卵	水産	冷蔵日記	飲料	検査の結果、 全て検出下限値 (20Bq/kg)以下でした。
		9	26	18	9	8	2	2	1	
放射性物質検査 (NaIシンチレーション サーベイメータ※②)	検査数 15	野菜	果物	きのこ	検査の結果、全てバックグラウンドとの差異が ※③3kcps(キロ・カウント・パー・セカンド) 以内となりました。					
		6	6	3						

※①NaI(エヌイーアイ)シンチレーションスペクトロメータ：遮蔽体(しゃへいたい)付検出器で核種を特定できるもの：ヨウ素131、セシウム134、セシウム137を測定

※②NaIシンチレーションサーベイメータ：遮蔽体無しの持ち運びできる機器：ガンマ線総量を測定

※③kcps(キロ・カウント・パー・セカンド)：1秒間に対象となるものから何

回放射線物質が放出されているか測定するものです。奈良県行政と同様にバックグラウンド(放射線測定の際の測定対象以外からの放射線)で宇宙線や天然の放射性物質に起因する)との差異を3以内としました。NaIシンチレーションサーベイメータではガンマ線総量を測定し、検出が疑われる場合は、NaIシンチレーションスペクトロメータで確認検査を行うこととしています。

